

## 【アンケート調査】

### 薬剤耐性に関する認知度調査（産業動物臨床獣医師向け）

1. あなたは、平成 29 年度の薬剤耐性に関する認知度調査（WEBアンケート）に参加されましたか。

はい ⇒ 設問 2 へ

いいえ ⇒ 設問 2 へ

2. あなたは次のどれに当たりますか。（複数選択可）

①乳用牛の診療・衛生指導に従事する獣医師

②肉用牛の診療・衛生指導に従事する獣医師

③豚の診療・衛生指導に従事する獣医師

④鶏の診療・衛生指導に従事する獣医師

⑤その他（①～④以外の獣医師）

（※⑤を回答した者については、アンケート結果に反映させない。）

3. 平成 28 年に定められた日本の薬剤耐性（AMR<sup>※1</sup>）対策アクションプラン<sup>※2</sup>をご存知ですか。（1つ選択）

知っている or 知らない

下記の URL をクリックすると、参照先が掲示されます。

※1 AMR: Antimicrobial Resistance

※2 [http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/yakuzai\\_honbun.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/yakuzai_honbun.pdf)

4. 「畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方」（平成 25 年 12 月 24 日通知）をご存知ですか。（1つ選択）

知っている or 知らない

下記の URL をクリックすると、参照先が掲示されます。

※ 畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方

※ [http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/prudent\\_use.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/prudent_use.pdf)

5. 「適切な診断に基づいて抗菌剤の使用を真に必要な場合に限定する、そして、使用する必要がある場合は、有効な抗菌剤を適切に選ぶとともに、必要最小限の使用量とする」ということを日頃の診療において心がけていますか。

（1つ選択）

はい or いいえ

下記の URL をクリックすると、参照先が掲示されます。

※ 畜産物生産における動物用抗菌性物質製剤の慎重使用に関する基本的な考え方

※ [http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/prudent\\_use.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/pdf/prudent_use.pdf)

ある or ない

6. 抗菌剤の使用する機会を減らす目的で、飼養衛生管理の改善やワクチンによる感染症の予防を指導したことがありますか。

ある or ない

7. 日々の診療において、抗菌剤の使用に当たり、薬剤感受性試験を実施していますか（抗菌剤の使用後に実施する場合を含む）。（1つ選択）

必ず実施する or 時々実施する or 実施しない

8. 抗菌剤を用いた治療において、飼料にどのような抗菌性飼料添加物（飼料工場で配合される抗菌剤）が混ぜられているかを意識していますか。

（1つ選択）

はい or いいえ